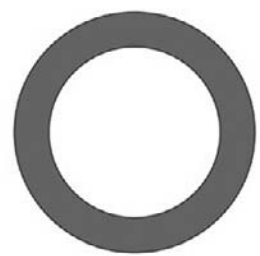


「世界糖尿病デー」のシンボルマーク



world diabetes day
14 November

糖尿病が引き起こす合併症などにより、全世界で年間500万人以上もの人が死亡しています。
国連では、11月14日を「世界糖尿病デー」とし、糖尿病の予防や治療の重要性を啓発するキャンペーンを行っています。
▼糖尿病とは
糖尿病とは血液中の糖(血糖値)が高い状態が続くことをいいます。多くの場合、過食や運動不足といった悪い生活習慣が続くことが原因で発症します。血糖値が高い状態が続くと、血液中の糖が全身の血管を傷つけ、人工透析が必要となる糖尿病性腎症など様々な障害(合併症)を引き起こします。

▼国内の糖尿病有病者は1千万人!
国内でも糖尿病が強く疑われる「有病者」は増加を続けており、「平成28年国民健康・栄養調査」結果によると、初めて1千万人以上と推計されています。
また、糖尿病の可能性を否定できない「予

備群」も約1千万人を数えています。
▼予防のために大切なことは
糖尿病は、初期の段階ではほとんど自覚症状がありません。そのため、健康診断で糖尿病の疑いがあるときだけでも、悪化するまで放置してしまいがちです。

今年で18回目となる糖尿病フェアは、地域の皆さまに糖尿病について関心を持ち、理解を深めていただくことを目的に実施しています。
今回は「糖尿病を知

第18回糖尿病フェアにご参加を

県立中央病院

上越地域振興局健康福祉環境部と共同で実施する参加型のフーズ展示を行います。
参加費無料、申し込み不要で、どなたでもご参加いただけます。
多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

【日時】11月25日(土) 午後1時30分～午後4時
【会場】上越市市民プラザ
【内容】①講演「糖尿病と上手につき合おう」(県立中央病院 糖尿病専門医 皆川 真一 医師)
②上越市スポーツ推進委員渋谷房子指導員によるスローエアロビツクの実技
③フーズ展示
血糖値測定機器の紹介コーナーや食事・運動・薬物の紹介コーナー、歯周病検査コーナーなど
【問い合わせ先】県立中央病院地域連携センター(電話025・545・2190)

【日時】11月18日(土) 午後1時30分～午後3時(受付は午後1時から)
【会場】県立上越テクノスクール(上越市藤野新田333・2)

【対象者】高校生(学年問わず)、その保護者、職業訓練に興味がある方
【申し込み】事前申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。
【問い合わせ先】県立上越テクノスクール(電話025・545・2190)

県立上越テクノスクール

オープンキャンパスにご参加を



ハロー・トレーニング 急がば学べ

【内容】当校で実施している訓練内容や取得できる資格などについての説明および施設見学を行います。
【対象科】
・自動車整備科
・メカトロニクス科
・ビジネススタッフ科
・木造建築科
・生産設備メンテナンスコース
・溶接科

県立看護大学 「大学院生」募集

県立看護大学では、平成30年度大学院看護学研究科の入学試験を行います。
【募集専攻】看護学研究科看護学専攻
【募集人員】
・博士前期(修士) 課程10名程度

【試験日】平成30年1月30日(火)
【試験会場】県立看護大学(上越市新南町240番地)
【出願期間】平成30年1月4日(木)～1月12日(金)
※出願前に、入学後

の研究について、教員との面談が必要です。(面談期間は平成29年11月13日(月)から12月12日(火)まで)
【受験料】3万円
【募集要項の請求方法】募集要項は、直接来校されるか、郵送により請求してください。
郵送の場合は、封筒の表に「大学院入学試験博士前期(ま

たは博士後期)課程募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角型2号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分の切手を貼付したもの)を同封の上、請求してください。
詳細は県立看護大学ホームページで確認ください。
【問い合わせ先】県

立看護大学教務学生課教務係(電話025・526・2811)(住所〒943・0147上越市新南町240番地)
(電子メール)kyoumu @ niigata-cn.ac.jp



11月14日は「世界糖尿病デー」

くびきの創信

「創信」とは地域の皆さんと新しい上越を創(つくり)り、情報を発信していくという意味の造語です。

新潟県上越地域振興局
上越市本城町5-6
TEL025-526-9326
FAX025-524-5914
E-mail
ngt111910@pref.niigata.lg.jp
URL
http://www.pref.niigata.lg.jp/jouetsu/

県(上越地域振興局)からのお知らせ

毎週火曜日掲載

11月11日～17日は

税を考える週間



地方税
暮らしを支える
未来へのバトン

身近なところから笑顔を。明るい未来へつなげるために。地方税は、私たちの暮らしをいろいろなシーンで支えています。